

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
0521	道後温泉活性化事業	産業経済部	道後温泉事務所	2
0521	道後温泉地域振興事業補助事業	産業経済部	道後温泉事務所	3
0521	道後村まつり事業補助事業	産業経済部	道後温泉事務所	4
0521	浴場管理事業	産業経済部	道後温泉事務所	5
0521	源泉管理事業	産業経済部	道後温泉事務所	6
0521	源泉井戸及び分湯場施設改修事業	産業経済部	道後温泉事務所	7

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉活性化担当	連絡先	921-0101
------	-------	-----	---------	-----	-----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉活性化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市補助金等交付規則、松山市道後温泉活性化まちづくり促進補助金交付要綱		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】回遊性・滞在性の向上、誘客・創客の推進、地域経済の活性化及び道後地域の賑わい創出を図ることを目的としている。 【背景】地域間競争が激しくなるなかで、回遊性と滞在性の向上が必要とされている。				
対象・内容	【対象】道後アート実行委員会、地元団体(道後温泉旅館協同組合・道後商店街振興組合・道後温泉誇れるまちづくり推進協議会ほか) 【内容】 ・道後アート実行委員会へ負担金を拠出し、道後温泉の歴史的・文化的価値に加え、他の温泉地にはない道後温泉地区の新たな観光資源となったアートを活用した事業を実施する。 ・地元団体に「道後温泉活性化まちづくり促進補助金」「伊佐庭如矢顕彰事業」などを通して補助金や負担金を交付し、地域のにぎわいづくりを応援する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	負担金(道後アート事業 開催負担金等)		42,817
予算 (千円)	事業費計	64,619	61,067	81,336			委託料(ひかりの実開催 業務委託等)		6,629
	国費・県費	2,000	22,650	31,250			使用料及び賃借料(動画 の著作物利用料等)		3,739
	市債								
	その他		20,570	30,636					
	一般財源	62,619	17,847	19,450					
決算 (千円)	事業費計	56,102	59,878			主な 取組 内容 【R7】	・アーティストの蛭川実花さんとクリエイ ティブチームEiMを招き、アートプロジェク ト「蛭川実花 with EiM × 道後温泉 DOGO ART」を開催した。		
	国費・県費		22,641						
	市債								
	その他		23,925						
	一般財源	56,102	13,312						
	(執行率)	87%	98%						
人役	正規職員	5.0	6.0	5.0		特記 事項			
	その他								
	合計	5.0	6.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	イベント・企画 (実施数)		目標	20	20	20	20	道後温泉地区の魅力向上のため、活性化に関するイベント・企画を適切に実施できている。
			実績	30	20			
	現状維持	件	達成率	150%	100%			
成果指標	道後地区の宿泊者数		目標	800,000	800,000	800,000	800,000	道後温泉地区の魅力を高め、賑わいの創出に努めた結果、目標を上回った。
			実績	782,096	824,819			
	単年で増	人	達成率	98%	103%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	平成24年度より事業を予算化し、「道後温泉活性化計画」などに基づいて道後温泉地区への誘客に取り組み、本市観光客数の増加に努めている。時期を逸することなく各種プロジェクトやアート作品展示などを実施し、アートプロジェクトの観光資源化、道後温泉地区の魅力創出、関係人口拡大の取組などを積極的に進めることができた。						
課題	インバウンドを含む観光需要が高まる中、観光地の地域間競争が激しくなる。				今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、道後温泉ならではの魅力づくりや話題性の創出に取り組み、道後温泉地区の賑わいを生み出し、本市や道後への誘客につなげるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	907-5554
------	-------	-----	---------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉地域振興事業補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市補助金等交付規則、道後温泉地域振興事業補助金交付要綱		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】道後温泉及び道後地区の発展と活性化を図ることを目的としている。 【背景】道後を代表する伝統行事である初子祭を保存・継承していくことが求められている。				
対象・内容	【対象】道後温泉地域振興会 【内容】同会が主催する初子祭に対して補助を行い、市民や観光客に憩いの場を提供する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	総務管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	補助金		450
予算 (千円)	事業費計	450	450	450					
	国費・県費								
	市債								
	その他	450	450	450					
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	450	450			主な 取組 内容 【R7】	道後温泉地域振興事業補助金の交付		
	国費・県費								
	市債								
	その他	450	450						
	一般財源								
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	1.0	2.0	2.0		特記 事項	特になし		
	その他	1.0	0.0	0.0					
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	参加人数		目標	5,000	8,000	8,000	8,000	初子祭が開催され、地域住民や市民、観光客の方々が多く参加されたため	
			実績	17,000	19,600				
	単年で増	人	達成率	340%	245%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後地域の活性化及び観光客の誘致、また、地域住民や松山市民の憩いの場を提供することができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	道後温泉地域の伝統行事を保存、継承するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	907-5554
------	-------	-----	---------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道後村まつり事業補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市補助金交付規則、道後村まつり事業補助事業補助金交付要綱		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】道後温泉及び道後地域の発展及び活性化を図ることを目的としている。 【背景】行政と道後地域住民が一体となって道後温泉の活性化を図ることが求められている。				
対象・内容	【対象】道後村まつり実行委員会 【内容】同会が主催し、道後夜市等を開催する道後村まつり事業に対して補助を行い、市民や観光客に憩いの場を提供する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	総務管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	補助金		230
予算 (千円)	事業費計	230	230	230					
	国費・県費								
	市債								
	その他	230	230	230					
一般財源									
決算 (千円)	事業費計	230	230			主な取組 内容 【R7】	道後村まつりの補助金の交付		
	国費・県費								
	市債								
	その他	230	230						
	一般財源								
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	1.0	2.0	2.0		特記 事項	特になし		
	その他	1.0	0.0	0.0					
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	村まつり開催時の 商店街利用者数		目標	5,000	8,000	8,000	8,000	道後村まつりが開催され、地域住民や市民、観光客の方々が多く参加されたため	
			実績	10,000	16,000				
	単年で増	人	達成率	200%	200%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後地域の活性化及び観光客の誘致、また、地域住民や松山市民の憩いの場を提供することができたため							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	道後温泉地域の伝統行事を保存、継承するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	907-5554
------	-------	-----	---------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	浴場管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市道後温泉事業施設の設置及び管理に関する条例		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】道後温泉本館などの効率的な運営を行うとともに、来館者が気持ちよく施設を利用できる環境を整えることを目的としている。 【背景】道後温泉本館など公営公衆浴場を財産区から松山市に編入し運営している。				
対象・内容	【対象】入浴者、道後温泉コンソーシアム(指定管理者) 【内容】 ・市民や観光客に対し、入浴などのサービスを提供する。 ・効率的な運営を図るため、道後温泉本館・飛鳥乃湯泉・椿の湯の運営は、指定管理者制度を導入している。指定管理者である道後温泉コンソーシアムに指定管理料を支出しているほか、運営管理・施設維持のための事業を実施している。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	浴場管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	道後温泉事業施設の管理に係る指定管理業務委託		710,883
予算 (千円)	事業費計	756,007	880,221	906,539			光熱水費		67,878
	国費・県費								
	市債								
	その他	756,007	880,221	906,539					
一般財源							キャッシュレス決済手数料振替	7,900	
決算 (千円)	事業費計	738,924	799,289			主な取組 内容 【R7】	道後温泉3館の効率的かつ適切な経営を行うとともに、利用客へのサービス向上に取り組む。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	738,924	799,289						
	一般財源								
	(執行率)	98%	91%						
人役	正規職員	6.0	5.0	4.0		特記事項			
	その他	2.0	0.0	0.0					
	合計	8.0	5.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	浴場使用料		目標	766,277	833,033	823,750	814,424	3館周湯チケットの継続的な販売を開始するなど、来館者の満足度の向上に努めたため	
			実績	697,425	818,528				
	単年で増	千円	達成率	91%	98%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後温泉3館を指定管理とし、3館の周遊促進や来館者の満足度の向上に努めた。							
課題	道後温泉3館のサービス向上や3館の周遊策の強化が必要					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	道後温泉の利用者に対し、入浴などのサービスを提供するとともに、継続して来館者の満足向上に努めるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉施設管理担当	連絡先	921-5151
------	-------	-----	---------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	源泉管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市道後温泉事業施設の設置及び管理に関する条例		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】道後温泉にいられた市民や観光客の方々に心地よく利用していただくため、源泉の安定供給が出来るよう源泉設備を整備することを目的としている。 【背景】道後温泉本館など公営公衆浴場を財産区から松山市に編入し運営している。				
対象・内容	【対象】既存源泉18カ所及び既設分湯場の4カ所。 【内容】安定的な源泉管理及び維持管理を図るため、道後温泉資源量調査及び湯湯設備点検の委託費を支出。そのほか源泉管理に必要な修繕に工事請負費を支出。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	施設整備費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	光熱水費		14,999
予算 (千円)	事業費計	42,676	46,136	46,605			工事請負費(道後温泉26号源泉汲上げ用コンプレッサー整備工事等)		8,989
	国費・県費								
	市債								
	その他	42,676	46,136	46,605			委託料(令和7年度道後温泉資源量調査及び湯湯設備点検業務委託等)		8,631
一般財源									
決算 (千円)	事業費計	27,381	34,737			主な 取組 内容 【R7】	内湯へ安定的に源泉を供給するために18ヵ所ある源泉の延命化と維持管理及び突発的な修繕対応など		
	国費・県費								
	市債								
	その他	27,381	34,737						
	一般財源								
	(執行率)	64%	75%						
人役	正規職員	4.0	4.0	4.0		特記 事項			
	その他								
	合計	4.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	設備の点検実施回数		目標	2(365)	2(365)	2(365)	2(365)	委託による点検及び日々の簡易点検とともに予定通り実施し、予防保全に努めた。	
			実績	2(365)	2(365)				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	設備の突発的な故障に対処し、突発故障を極力抑えるために、予防保全を計画的に実施することで、源泉の安定供給につながった。							
課題	源泉井戸及び分湯場施設改修事業で予防保全的な設備更新を実施し、突発的な費用の縮減につなげる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	源泉の安定供給を行うために突発的な修繕は少なからず発生するため、現行のまま計画を維持し、費用縮減に努める。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉施設管理担当	連絡先	921-5151
------	-------	-----	---------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	源泉井戸及び分湯場施設改修事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市道後温泉事業施設の設置及び管理に関する条例		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】老朽化している源泉井戸及び分湯場を順次改修することにより、温泉の湯湯量を確保することを目的としている。 【背景】平成20年度に「道後温泉源泉井戸及び配湯施設改良基本計画」10カ年分を策定、令和2年度に、「道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修実施計画」12カ年分を策定し、老朽化した源泉や分湯場の改修を計画的にすすめている。				
対象・内容	【対象】既存源泉18カ所及び既設分湯場の4カ所。 【内容】安定的な源泉管理及び維持管理を図るため、必要な修繕に工事請負費を支出。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	源泉管理事業
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	工事請負費(道後温泉第1分湯場湯釜ポンプ取替工事等)	18,566	
予算 (千円)	事業費計	47,900	23,300	13,300					
	国費・県費								
	市債								
	その他	47,900	23,300	13,300					
一般財源									
決算 (千円)	事業費計	45,501	18,566			主な 取組 内容 【R7】	道後温泉第1分湯場湯釜ポンプ取替、冠山事務所電気室変圧器取替や分湯場の機器類の更新を実施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	45,501	18,566						
	一般財源								
	(執行率)	95%	80%						
人役	正規職員	4.0	4.0	4.0		特記 事項			
	その他								
	合計	4.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和13年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修		目標	5	3	3	22	予定していた工事は完了することができた。	
			実績	5	3				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後温泉第1分湯場湯釜ポンプ取替工事など、当初予定していた工事について、完了することができた。							
課題	物価高騰や設備の突発故障などで一部計画と乖離が出てきている。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	改修実施計画について、見直しを行うため